

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 6 日（日）13:00~14:00

水の郷 さわら 水辺交流センター

発言者：意見発表者 1

私は千葉県佐倉市から参りました●●●●と申します。あのハッ場ダムに関しましては、かねてより不必要、というか必要性が欠けているものだとの認識のもとに、今回の発表をさせて頂きたいと思いません。

ハッ場ダムは構想から 60 年になるにも関わらず、未だ完成にはほど遠く、その必要性について問われ続けています。その間、ダム流域の地域社会、またかけがえのない自然が破壊されました。そしてハッ場ダム計画の精査により 2 回、3 回と工期延長、事業費の増額が繰り返されています。このような情勢から民主党政権によるハッ場ダムの予断なき検証が約束され、私たちはその経緯を注視して参りました。しかし検証結果は、科学的でも客観的でもなく、ただひたすらハッ場ダム建設だけが目的であり、未だに、抜本批判の公共事業への利権構造や利害関係が深まったままであることが、この間伺われます。以下、検証結果について述べさせていただきたいと思えます。まず一番目に、なるべくダムに頼らない治水治水への政策転換であったはずが、これまでダムを推進してきた国交省関東整備局自らが行った検証は当然のように、ハッ場ダムは必要との結果を導き出すシステムを最初から構築したものでした。これは国民を欺く行為であり、本来の理念からはほど遠いものであると私は思います。次に利水についてです。現実の水需要の実績と今後の人口減等の様々な状況をあえて避け、利水利用者の過大な水需要予測をそのまま見立て、それを前提とし、富士川からの導水、排水、導水など 1兆 3千億円の費用を含む非現実的な案との比較などで科学的な検証とはほど遠いものでした。次に利水に関して申し上げますと、ハッ場ダムの効果を過大に評価しており、ハッ場ダムを有利にことさら浮き彫りにしている点があります。検証の際には国交省の事業を正確であるかの検証もなく、ただのんびりした机上の議論のみではないでしょうか。私は日本学術会議が出した結論の説明会に出席して参りました。また学術会議に質問書を提出しておりましたが、その説明をするときに、カスリーン台風並みの降雨に対してハッ場ダムの効果が無いことが・・・申しわけありませんちょっと間違えました、学術会議で出した結論のときの説明にも伺いましたが、その机上の空論であるというような結果は顕著でございました。委員の方からは東大モデル、京大モデルで結果的に後で説明を伺いましたら、それは実現象をみていない。ただ国交省からわたされたこと以外は私どもは知りませんとの回答を頂いております。またカスリーン台風並みの降雨に対してハッ場ダムの効果が無いことが、国交省自ら、2008 年 6 月の国会議員の質問にて明らかにしております。この事実も検証されず全く不都合なことは、議題に残っていない状況でございます。

次にダム本体や代替施設の周辺地域で懸念されている地盤の脆弱さ、ダム湖湛水後の地すべりへの危険性への対応など、議論が全くされておりません。記憶にもありません。私は現地に何度も行って参りますし、その、岩を手でこう触ってもぼろぼろこぼれるような、そういう地盤の悪いところへ代替施設が建設予定となっておりますが、あの、それはやはり机上の議論という結果であり、私たちとしては納得できないものでございます。このような無責任な検証といわざるを得ないものです。ダム本体代替施設周辺地域で懸念されている地盤の脆弱さ、ダム湖に湛水したあとの地すべりの危険性への対応などの議論が全くありません。これは無責任と言わざるを得ないのでは無いでしょうか、等々言いたいことは限りなくありますが、最後に申し上げたいことは、2009 年 9 月、国交省の今後の治水のあり方を考え

る有識者会議の中間とりまとめにはこのように書かれています。

我が国は現在人口減、少子高齢化、莫大な財政赤字という不安定要因に直面しており、この状況を踏まえれば、政治のありかたを大きく変えなければならない、という認識のもと出来るだけダムに頼らない治水、利水への政策転換を行うとしています。このようにダム検証の目的はできるだけダムに頼らない治水、利水への政策転換だったはずでした。にもかかわらず実際、に行われた検証は、ただ、ただ、八ッ場ダムにゴーサインを出すための検証作業であったと言わざるを得ません。

今、日本社会は中間とりまとめで3つの大きな不安要因だけではなく、3. 1 1の大災害に直面し、国民は先行きの見えない混乱のただ中にいます。これ以上次の世代に負の遺産を残してはならないことが、今、課せられた私たち世代の責任ではないでしょうか。

従って、以上述べましたことを踏まえ、真に科学的、客観的な検証を可能とする第3者機関を設置し、公開の場で八ッ場ダムの公正な検証を実施することを強く要望して、私の意見発表を終わります。ありがとうございました。

以上